

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.25)No.	1097	(H.24)No.	1097
-----------	------	-----------	------

事務事業名	地籍調査事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
都市整備部	用地対策室	米山 賢	

会計区分	事業コード	301002
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款	農林水産業費	地籍調査事業
項	農業費	(小事業名)
目	国土調査費	地籍調査事業

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	1	魅力的な都市環境づくり
	施策	1	土地利用
	小施策	1	計画的な土地利用
重点施策コード			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
地籍調査事業の実施により、地籍の明確化を図ることで、土地取引の円滑化、災害復旧の迅速化、公共事業の円滑化等に寄与する。
事業内容
国土調査法に基づく地籍調査事業を実施し、地籍の明確化を図る。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.24年度(事業量・取組実績)	H.25年度(事業量・取組計画)	H.26年度(事業計画)	H.27年度(事業計画)	H.28年度(事業計画)	
主な事業の実績・計画	地籍調査業務委託 ・滝之原1(A=0.15km ²) 一筆 地立会・測量工程 ・名張(A=0.62km ²) 地元説明会・立会・測量工程 委託料:43,279千円 他	地籍調査業務委託 ・滝之原1(A=0.15km ²) 一筆地立会、測量工程、地籍測定、地籍図、地積簿作成 ・名張(A=0.62km ²) 一筆地立会、測量工程、原図作成、地積測定 ・名張(A=0.15km ²) 地元説明会、一筆地立会、測量工程 ・夏見1 地元説明会、現地調査 委託料: 17,121千円	地籍調査業務委託 ・名張、名張、名張 ・夏見1、大屋戸、滝之原1	地籍調査業務委託 ・名張、名張、名張、名張	地籍調査業務委託 ・名張、名張、名張、名張 ・夏見1、大屋戸、東田原	地籍調査業務委託 ・名張、名張、名張、名張 ・夏見1、大屋戸、東田原

	H.24年度(決算見込)	H.25年度(作成時予算額)	H.26年度(計画予算)	H.27年度(計画予算)	H.28年度(計画予算)
直接事業費	44,782千円	17,685千円	19,430千円	19,430千円	19,430千円
内訳(千円)					
国・県支出金	32,472	10,947			
地方債			14,573	14,573	14,573
その他()		H25.7.9誤記訂正			
一般財源	(0) 10,824	6,738 3,492	4,857	4,857	4,857
人工数					
職員	1.40人	1.10人	1.10人	1.10人	1.10人
臨時職員等	0.20人	0.20人	0.20人	0.20人	0.20人
概算人件費	(0千円) 11,120千円	8,810千円	8,810千円	8,810千円	8,810千円
+ 総事業費	(0千円) 55,902千円	26,495千円	28,240千円	28,240千円	28,240千円

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業など)は点検対象外)

考察(H.24年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
名張1地区の現地立会を実施し、市街地エリアでの事業を開始しました。しかしながら、権利者、筆数が多数となったため、すべての立会が行なえなかったため、次年度に一部を持ち越した。	今後の事業推進に当たっては、規模等を十分に検討し、余裕を持った工程管理を行ないます。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか B(いずれかの施策指標達成に貢献又は基本方針達成に貢献)	地籍事業の推進は、土地の権利関係の確定のみならず、市各部署での活用など、計画的な土地利用が図れます。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 検討している・今後可能性がある(検討内容を記載)	関係地区と連携を密にし、事業推進を図ります。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(現行)
具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由	6. 事務事業の取組に関する主な市の計画
地籍調査の完了率の更なる向上を計画的に目指します。	